

レスポンシブル・ケア

理事・レスポンシブルケア部長

村田 弘一



地域に根ざしたレスポンシブル・ケア活動を推進しています。

住友化学では、レスポンシブル・ケアに関する方針・目標をグループ全体で共有し、中期経営計画の基本方針である「安全・安定操業の確立と継続」に取り組むとともに、製品のライフサイクル全般における「安全・環境・健康」の確保、そして製造する化学製品の品質の維持・向上に努めています。

現在、欧州・米州・中国・アジア大洋州の地域統括会社にレスポンシブル・ケア専任者を配置し、地域に根ざしたレスポンシブル・ケア活動を展開しています。2016年からは、グループ全拠点における安全確保の取り組みとして、グループ共通の「安全グラウンドルール」を定め、全グループ従業員へ周知し、労働災害撲滅に取り組むとともにグループ全体の安全活動の一層のレベルアップを図っています。そして、地域の安全・環境保全に努め、こういった取り組みを近隣の皆さまに説明し、対話を進めることで、相互理解を深めていくように努めています。

気候変動問題への対応、循環型社会の形成、生物多様性への配慮など、地球規模の課題が山積する中で、化学産業に携わる私たちにとって、事業を継続する大前提となるのが、社会からの信頼です。そして、これら課題に対する解決策の提案ができるのが化学産業であると考えています。お客さま、地域の皆さま、従業員の方々と一緒に発展していけるように、これからもグループ一体となってレスポンシブル・ケア活動を推進していきます。

労働安全衛生・保安防災

グループ全拠点における安全確保への取り組み

住友化学グループでは、安全確保の取り組みを通じて、全拠点で労働災害ゼロの達成を目指しています。そして、地域社会の安全・安心を確保するため、自主的な保安管理を徹底しています。具体的には、大規模地震などの自然災害発生時の被害を最小化するため、設備や建築物の耐震改修を計画的に進めています。また、定常運転時に潜むリスクのみでなく、プラントの緊急停止時や停止後の再スタートなどの非定常運転時にも焦点を当て、保安リスクの低減を図っています。

地域対話の実施状況 (2017年度 住友化学各事業所)

開催回数	40回	参加者数	約690名
------	-----	------	-------



地域対話の様子



工場見学

環境保全・気候変動対応

サステナブルな社会の実現に向けて

住友化学グループは環境活動の共通目標を設定し、グループをあげて環境負荷低減に取り組んでいます。特に気候変動対応においては、パリ協定の「2°C目標」と整合した企業の意欲的な温室効果ガス(GHG)排出削減目標であるScience Based Targets (SBT)について、当社グループとして目標設定を行うことを宣言の上、対応に着手しています。具体的には、各工場のGHG排出量を削減するため、省エネ投資を促す仕組みの検討を始めました。また、GHG排出量開示の国際基準であるGHGプロトコルに準拠した当社グループのデータ開示を2017年度より開始しました。今後は、GHG排出量削減を促す技術革新を加速させるべく、工場・研究・生産技術部門などとの連携をさらに強化していきます。また、貴重な資源である水に関しては、それぞれの用途に応じた効果的な利用を通じ、使用量の削減に取り組んでいます。

プロダクトスチュワードシップ・製品安全・品質保証

お客様の安全・安心のために

化学製品のライフサイクルを通じて、人や環境への安全面での影響度を推定し、そのリスクに応じて人の健康と環境を保護する活動を推進しています。現在、住友化学は「エコ・ファーストの約束」のもと、販売中の製品がお客様に安全に使っていただける品質となっていることを改めて確認しており、その結果は、「安全性要約書[※]」として公開しています。今後は、グループ会社が販売する製品についても同様な確認を計画的に行い、グローバルな視点からの情報開示を進めていきます。そして、世界中のお客様が安心して使用できる品質の製品とサービスをお届けできるよう、日々の管理を徹底するとともに、製品とサービスの改善に継続的に取り組んでいきます。

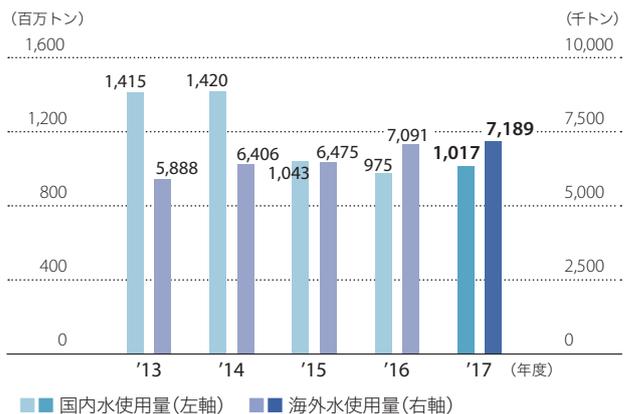
※ 化学物質の安全性情報を記載した文書

温室効果ガス(GHG) 排出量



※ GHGプロトコル基準では、従来算定に含めていなかった住友化学グループが外部に販売したエネルギー起源のCO₂排出量、住友化学単体の非生産拠点のエネルギー起源CO₂排出量、「地球温暖化対策の推進に関する法律」算定対象外の非エネルギー起源CO₂排出量を含めています。

国内水使用量^{※1・3} / 海外水使用量^{※2・3}



※1 住友化学と主要な国内グループ会社の集計値 (対象：生産工場)
 ※2 主要な海外グループ会社の集計値 (対象：生産工場)
 ※3 水使用量は海水も含む

エコ・ファーストの約束



約束事例

自社技術を活用した化学物質管理とリスクコミュニケーションに、適切かつ積極的に取り組めます。

実績

当初計画した対象製品全ての安全性再評価を終了し、安全性要約書として

41 件を公開しました。

住友化学は2008年11月より環境省の「エコ・ファースト制度」に参画しています。化学企業のリーディングカンパニーとして法令遵守の徹底はもとより、レスポンシブル・ケア活動の一層の充実に努めながら、環境大臣と約束したエコ・ファーストの約束の達成を目指しています。